

# 神和台

平成11年3・30

第65号

## 平成10年度自治会活動を顧みて

自治会長 山崎辰治

神和台の町が発足して20年目と言う栄えある筋目の年に会長に就任、光栄な思いがすると共に責任の重大さ感じさせられました。

自治会のことは何一つ分かっていなかった私です、不安な気持ちと無事任務が果たされるかなと言う複雑な思いでの船出でした。

就任間もなくして、私の不安が的中するかの様に、私の耳に最初に入ってきたのが、「自治会に不信感を抱いている」、「自治会は魅力がない」と言う住民からの声でした。予期せぬ出来ごととは言え、残念な思いが致しました。逆に私を奮い立たせ、「自治会を変えよう、変えなくては、」と言う気持ちにさせてくれました。今一度自治会の原点に戻り出直しの必要性を感じさせられ、神和台の町を見渡しますと色々な問題が山積して見えました。又本来ならば今までに見直しすべきであったにも拘わらず、見直しされておらず自治会活動に

支障を期たす様な問題もあり、一つずつ見直していかねばならず役員会も第一四半期は月3回開催せざるを得ない様な状況でした。

当面の諸問題に付きましては役員諸氏を初めと致しまして、専門部会の皆様方の強力なバックアップによって曲がりなりに結果を出すことが出来ました。役員の方々並びに専門部会の皆様方には感謝の気持ちで一杯です。心からお礼申し上げます。

さて、本年度は20周年と言うことで、当初の企画では老若男女が進んで参加できる催しをと考え企画に取り掛かりましたが、神和台には今だに進んで参加して頂ける様な土壌が出来ていないと言う結論に達し、あきらめざるを得ませんでした。『20周年記念まつり』を催しましたところ、住民の皆様方のご協力のお陰で好評を得ることが出来たのは何よりです。まつりにご協力頂きました住民の

皆様方にあらためてお礼申し上げます。まつりの会場でご協力頂きましたご婦人の方々が楽しそうに商品売っておられたあの笑顔、又住民の皆様さんが楽しく井戸端会議をしている姿を見られ、大変うれしい思いをしました。

自治会活動を通じて、私が良く耳にしていたことは、神和台の住民は住民同志の融和に欠けている」と言うことを聞かされていましたが、まつりを通じて感じましたことは、この様な住民参加による催しを、又住民同志がふれあいの出来る場をもっと、もっと自治会として企画していく必要性を痛切に感じさせられました。一方この数年神和台を取り巻く住環境が隣接地の宅地開発工事に伴い変わろうとしています。当期に置きましても湯屋谷の宅地開発工事が行なわれる事になりました。隣接する住民の皆様方は直ちに対策委員会を結成、又、自治会と致しましても外周道路をタンブカーが走る事でもあり全住民に拘わる問題でもある諸問題に取り組んで参りましたが、工事は2月から始まっています。工事は約1年に及びます。これからも引き続き監視を続けていかねばなりません。又昨年暮れには既報の様に垂水ジャンクションから神和台に至る第2進入道路計画の話が持ち上がった見えます。本件に関しては残念ながら当期に結論を出すに至りませんでした。次期役員の方に住民

の皆さんのご意見を反映させ交渉して頂く事とさせて頂きます。尚、その他の当面の大きな課題と致しまして「自治会の法人化」の問題があります。本件に關しましては次期総会に議案として提出、次期役員に引継ぐ事とさせて頂きます。会長に就任しました際、先輩諸氏から少なくとも2、3年は努める様に励ましを受けましたが、未だ富士山の3合目を登り積めたところで、リタイアする事は私自身も負がいない思いがしますが、私の現在の環境を考えた場合、これ以上引き続き任務を続けることは、逆に住民の皆様方にご迷惑をお掛けする事にもなりますので退任させて頂く事としました。1年と言う短い在任期間でしたが、住民の皆様方の暖かい心に触れることができました事は、私の一生の宝になることだと思えます。



住民の皆様方から感謝申し上げますと共に自治会の今後益々の繁栄をお祈り申し上げます。お礼の言葉とさせて頂きます。

## 集会所の補修工事

集会所を永続性のある建物として管理していくには、今補修することが大切であり、工事代金の一部を神戸市からの補助金で賄い補修すること致しました。特に痛みの激しい建物外装、雨戸、非常階段、シャッター(倉庫)等は、



塗替え、又、入口石段の階段は高齢者の方から、もう少しフラットな階段にして段数を増やし、手摺を付けて欲しいとの要望がありましたので補修しました。尚、工事代金の自治会負担分に付きましては、1月17日の臨時総会第3号議案特別補正予算として提出議決致しました。

3月中旬で、全ての補修工事も完了し、建物も見違える程、きれいになりました。住民の皆様で大切に使用し、大いに活用していきましょう。散歩の折りにでも是非、のぞいてみてはいかがでしょうか。

〔専門部活動報告〕

☆ 総務部

- 。自治会全般の事務処理
- 。会員の把握(転入・転出・出生・死亡)
- 。住居表示板見取図新規制作
- 。掲示板の管理および掲示

☆ 広報部

- 。毎月十五日「たるみ」配布
- 。六月「神話台」63号発刊
- 。十月「神和台」64号発刊
- 。三月「神和台」65号発刊

☆ 環境部

- 。犬・猫の糞の苦情処理
- 。緑道街路樹の剪定、南斜面の除草
- 。年末満周辺掃除
- 。清掃用具の補充
- 。生ゴミステーション・荒ゴミステーションの増設
- 。「ごみ持ち出しについてのお願
- い」回覧・パンフレット配布
- 。ごみステーション清掃場所見直しアンケート配布

☆ 厚生部

- 。狂犬病予防注射 4/3
- 。成人病検診 7/2
- 。Jリーグ観戦の幹旋 7/25
- 。敬老の日記念品贈呈 9/13

☆ 防災部

- 。小東山一丁目地区の街灯設置
- 。神和台一丁目南斜面階段の側溝防護柵設置
- 。神和台二丁目外周道路山側斜面の雨水管修理
- 。外周道路ガードレールの反射板

取替え

- 。夏休み中の団地内パトロールとガードレールの反射欠損箇所調査
- 。防火水槽と消火栓配置図作成
- 。「迷惑駐車について」回覧
- 。歳末夜間パトロール
- 。「飛び出し注意」立看板設置

☆ 管理部

- 。コピー機の管理と消耗品の補充
- 。集会所利用の日程調整
- 。集会所の日常管理
- 。自治会腕章購入
- 。集会所の年2回大掃除
- 。集会所補修工事(1/18、3/20)

☆ 会計部

- 。各部の予算執行
- 。神和台20周年記念行事の会計執行
- 。予算案の作成

◎ 会則の見直し

現行の会則の一部の条項に於いて現実に適うわない不備などところがあり、会則を改訂しました。本件は1/17の臨時総会に於いて、第2号議案として提出しましたところ一部内容修正することで議決されました。

- 1、第1章第2条―2として、  
本会は特定の政党、宗教、並びにこれに類する政治、宗教団体等の支配、干渉は受けない”を追加。
- 2、第2章第5条―3「各地区

より1名”を改め「各街区より1名」と修正する。

- 3、慶弔規定 第2条―3「但し80歳以上”を「但し満80歳の誕生日」と修正する。

◎ 街区の見直し

南公園地区の住民から街区編成替えの要望があり、役員会で審議しましたが、街区間のアンバランスの解消になること、街区間の活性化を計られ、且つ自治会活動の効率化を計られる等の理由により1/17の臨時総会の第1号議案として提出しましたが議決されました。

- 。10街区を2分割し、10街区(6戸)、10街区(8戸)と10街区(3戸)で1街区(17戸)とする。
- 。又、10街区(7戸)と10街区(11戸)で1街区(18戸)とし2街区とする。

◎ 神和台第2進入道路計画

この度(株)兼北より自治会へ垂水ジャンクション交差点から神和台1丁目12街区道路(幅員6m)又は神和台3丁目の一番上の道路(小東山地区に面する幅員11m)に接続の計画がある旨申し出がありました。

自治会と致しましては、住民の皆様方に御意見を聞きながら(株)兼北と折衝していかねばと思っています。

新しい

民生委員・児童委員の紹介

平成11年12月1日付で神戸市の民生委員・児童委員が改選され、神和台では再任されましたので、紙面を借りてご紹介いたします。

尚、今回神和台に近い市営住宅(ベルデ)が名谷地区に編入されたことに伴い、名谷地区の委員を増員すると同時に、各委員が新たに担当する地区は次のとおりです。

氏名	住所	電話番号	担当地区
都筑久美子	神和台1-1-5	792-6847	神和台1・2丁目
森下 高行	” 3-9-17	793-2035	” 3丁目
佐々木小夜子	” 3-11-18	792-7482	市宮ベルデ名谷住宅(3号棟)
吉田美代子	” 3-12-13	793-0438	” (4~7号棟)
河野 和子	” 3-12-12	792-4924	主任児童委員

さて、皆様も既にお気付きのとおり、神和台も年々高齢化が進み今後私たち民生委員・児童委員の役割が益々重要な時代になりつつあります。

今回選任されました委員5名、微力ではありますが皆様のお役に立つべく、これからも日々努力を傾注してまいりますので、ご用の折は、当該地区の委員までお気軽に声をおかけ下さいますよう、よろしくお願いいたします。

森下 高行

退任挨拶

元民生委員 森下 俊也

元三丁目担当 元三丁目担当

事情も解らないままお引受けして、ふと気が付くと三期九年の歳月が過ぎておりました。地域住民の皆さま、同僚委員諸氏の協力、ご助言のおかげで、大過なく任期を終えることができましたことを心から感謝しております。

高齢化・少子化の傾向は神和台でも着実に進行しております。来たるべき介護保険制度の実施もひかえ、民生委員の仕事も今後更に複雑多岐にわたることと思いが、新しい顔ぶれの委員さんが積極的に処理して頂けることと確信しております。

長い間、本当にありがとうございました。



# 我が街のサークル紹介

## ☆ボランティア活動

名谷ボランティア

代表 河野 和子

地震後、名谷ボランティアを結成しました。

水・電気・ガス・食料等の不自由な時、名谷小学校区の多くの方々のご援助で、毎回千人分の食材を用意して、六回の炊き出しを長田方面で行いました。この時、人と人との心のふれあい、温かさを痛切に感じました。

平成七年六月からは、小東山にできた学園緑ヶ丘仮設住宅で、月二回の給食サービスを、平成八年四月からは、毎週金曜日と月一回祝日、日曜日のモーニングサービスのお手伝いを行っています。この仮設も三月末で閉鎖となります。約四年間、いろいろな形でご協力



下さいました皆さん、本当にありがとうございました。仮設で親しくさせていただいた方々との別れは淋しいものがありますが、恒

久住宅での新しい生活が一日も早く、スムーズに営まれますことを願っております。

この名谷地区にも、ベルデ名谷(災害復興住宅)が建てられ、九八〇世帯という大勢の方々を迎えることとなります。すでに入居されている約二百世帯の方々を対象に平成十年十月より、月一回給食サービスを始めております。今は狭い団らん室で、五十人足らずの人が集まって、食事をしております。大集会所がオープンしましたら、もっとたくさんの方々に参加していただけたらと思っています。そこで皆さんにお願いがあるので、ボランティアとしてお手伝いいただける方、演芸等で出演していただける方、またそういう方を知っているという情報等をたくさんお寄せ下さい。

この世では、一人で生きていけないもの。皆で助け合って、楽しい人生をおくりたいものです。

## ☆活躍したい本たち

神和台文庫代表

佐々木小夜子

集会所の一階に、本棚に囲まれた部屋があるのをご存知ですか。ここが、神和台文庫です。

神和台の入居が始まって間の頃、交通の便も悪く、図書館等



に簡単には行けませんでしたが、それなら、自分たちで作ろうとお母さん方が発起して、呼びかけ、本を集め、誕生したのが神和台文庫です。活動し始めて、もうすぐ二十年になります。



前半の十年間は、神和台に子どもたちの声があふれていた時期です。最近、本も大活躍しました。

最近では、どこに幼いお子さんがおられるか、探すほどですから、本たちはいつも、借りてもらう日を静かに待っている状態です。

(本の貸出日)

毎週 土曜日 2時~4時

(本の内容)

児童書：絵本 読み本

知識の本 マンガ等

会員制でもなく、借りるのに、費用もいりませんので、是非一度どんな本が並んでいるのか、この部屋をのぞいてみて下さい。

小東山の方も、集会所は遠いですが、散歩かたがたお子さんと一緒に、来てみて下さい。

かつて文庫の本を楽しんだ人たちが今、お父さんお母さんになっ

ておられます。神和台に来た時、また本を利用してほしいです。同室に、大人の本が少々並んでいます。いつでもご自由に借りていただいていたいい本です。

## ☆テニスクラブ

二丁目 広瀬 恒美

皆さん！細々ながら長く続けてきたことだけが唯一自慢できるというテニス同好会が神和台にあることを御存じでしょうか。

昭和五十七、八年頃(実は、あまりに昔の事ではっきりとは覚えていないのですが...)、学生時代に経験があった城下さんの呼びかけで始めました。生まれて初めてラケットを手にした人(私もそうでした)、昔ちょっとかじった事のある人、いろんな人が集まりました。何人かが其々の事情でやめ、テニスの面白さにとりつかれた数人が途中存続の危機に見舞われながらも何とか今日に至っています。

総合運動公園のテニスコートで週に一日(土、日のどちらか)、少々の雨や雪にもめげず、真夏の炎天下では日焼けやシミを気にしながら、それでも続けてこられたのはやっぱりテニスの魅力でしょう。なかなか思うようには打てないボールに振り回されながらもエースを決めた時のあの快感、それに私達主婦にとって年に一度の合宿も嬉しい事の一つです。夕食の心配もせず、プレイの後はお風呂と宴会。やっぱりテニスはやめられません。

全員団塊の世代。いつまで続けられるかがこれからの最大の課題です。ボールを打ちたいけれど仲間がいなくて、という人、是非一度、週末の運動公園をのぞいてみて下さい。

## ☆絵画サークル

一丁目 長谷川

我が家に自分の作品を飾って楽しんでます。

このサークルは、絵は人を造らないが、人を磨きます。を

モットーに、家事の合間に、キャンパスにむかい、楽しいおしゃべりに花を咲かせながら、絵筆をふるっているグループです。自然や、物の美しさ、旅の楽しさを心の詩にして、絵として表現出来るよう頑張っています。

油絵・水彩・ハガキ絵等



1997年10月の作品展です

※今年も九月には、須磨パティオギャラリーで、日頃努力して描いた作品展を予定しております。



自治会からお願い・お知らせ

☆「総会資料」寄贈して下さい。自治会活動の拠点である集会所に本来管理されていない資料が、昭和五十四〜六十二年分と、平成二年度〜平成十年度分しか管理されていません。自治会活動をすすめていくに於いて、過去の資料を参考にしていかなければならない場合があります。会員の皆様の内、昭和五十四〜六十二年分、平成一年度の「総会資料」をお持ちの方がおられましたら、自治会にお譲り頂けませんか。お願いします。連絡先 広報部迄

☆お近くの街灯・水銀灯の消える箇所が有りましたら、直接、各人にて土木局に連絡して下さい。電柱に連絡所の電話番号が記入されています。

☆袖那の里の入浴客の駐車車両問題 袖那の里と会合を持ち前向に改善する旨、回答を取付けましたが依然として休祭日になると駐車場空き待ち車両が列をなして居り、住民車両の通行の妨げになり非常に危険でも有りますので垂水署に対し取締りをお願い致しました。結果、口頭では有りますが袖那の里に対し警告を発して頂きました。ところがその後も改善の様子もなく、年末年始にはさらに待ち車両が列をなすことでも有り再度垂水

署に取締り強化をお願いしました。回答は実態調査をした上で、文書で警告を発するとの事でした。現状はどうでしょうか？今後も引き続き監視を強化して行かねばならないかと思えます。

☆20周年記念まつりと言う事で、積水ハウス御関西積和不動産御から20万円の寄付金を戴きました。この寄付金の有効活用を役員会で検討しました結果、記念に残る物と考えワイヤレスマイクセットを一式購入させて頂きましたので報告致します。

☆住所表示の変更 名谷町堂山におけるセキスイハウスの新区画地の新住所が昨年の9月1日、兵庫県からの公示で、新住所「神和台1丁目21番地」と定められ、自治会のこの地区の取扱は「堂山小公園地区、121街区」と決めました。

神和台主婦達が「クギ煮名人」として 全国に放映されました！

三月十日（水）、読売テレビの「ズームイン朝」の番組で、「イカナゴのクギ煮名人」を自称する八名が紹介されました。「自分が今炊いているイカナゴを全部、持って集まってほしい」と言うコープ神戸からの急な依頼に応じ、七日（日）集会所に集まり

呼掛人としては「タッパーの器につめた物」ぐらいのイメージでしたのに、持ち寄られたイカナゴは実にユニークで、ディレクターをも感激させました。イカナゴの巻き寿司（春のお寿司）、山椒味のきいたイカナゴまぜごはん、彼への愛情をつめ込んだイカナゴバック。マレーシアやニューヨーク行きの物等々、ごらんの写真の通りです。



「あなたにとってイカナゴのクギ煮とは？」と言う問に、春の便り、炊くことのできる幸せ、贈ることのできる幸せ、等と答えました。皆さんにとってはどうでしょうか。

取材はタッパー一時間半。放映は神和台の文字と町並が入りわずか一分余り。アップになったみんなの笑顔が印象に残り、久しぶりに顔を会わせた人もあり、イカナゴ談議でつながりを深めました。

一丁目 足立

転入

- 河江 篤現 十年十月十六日 (二丁目二十一十六)
井上 敏章 十年十月十七日 (二丁目二十一十七)
田中 孝一 十年十月二十日 (二丁目二十一二十九)
南出 正 十年十月二十六日 (二丁目二十一十四)
小西 定子 十年十一月一日 (三丁目二十一二十一)
山本 健一 十年十一月十五日 (二丁目九一八)
西村 和宏 十年十一月二十一日 (二丁目二十一十二)
原熊 秀人 十年十二月十二日 (二丁目二十一八)
森西 秀雄 十年十二月十三日 (二丁目二十一二十)
元小出寛明 十年十二月二十五日 (二丁目二十一二十一)
梅舎 佳紀 十一年一月十一日 (二丁目六一十九)
鍋田 昌臣 十一年一月二十九日 (三丁目十一六)

転出

- 山根 宏輔 十年十月一日 (二丁目六一十九)
西村 貴夫 十年十二月 (二丁目一一)
今林 猛彦 十一年二月一日 (二丁目五一六)

お誕生

- 木下 行正 三丁目二二二 翔太 十年十一月十九日
中村 祐治 一丁目八一十六 弥生 十一年二月八日

計報

- 山本 りき 十年六月二十七日 (三丁目一一三)
菊 雪 十年十一月十三日 (二丁目六一九)
樽本とき子 十年十一月二十五日 (二丁目一一三)
中原満寿美 十年十一月二十九日 (三丁目九一三)
奥村 武久 十一年一月十五日 (二丁目七一六)
坂本 秀吉 十一年二月十五日 (三丁目五一二)

編集後記

明石大橋開通に始まって、和歌山毒入りカレー事件で夏を過ぎ「だんご三兄弟」でもう一年、公私共に時間に追われる一年でした。五里霧中で始めた63号、掲載記事が多く有った64号、共にメンバーの協力のお陰で無事65号も乗り切る事が出来ました。神和台の内も外も様変わりしてきて、自治会にも、若い人達の参加が増えれば、と切に希望します。ありがとうございます。松永